

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	桜環境センター余熱体験施設
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市桜区新開4丁目2番1号</p> <p>②施設の設置目的 桜環境センターで廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーの有効な利用状況を体験でき、市民の健康の維持及び推進を図る場として、余熱体験施設を設置</p> <p>③施設の概要 大浴場、岩盤浴、ウォーキングプール、トレーニングルーム、娯楽室、レストラン</p>
(3)指定管理者	株式会社エコパークさいたま
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成27年4月1日～令和12年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成30年度 216,875千円、令和元年度 226,108千円、令和2年度 226,108千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 97,285人(前年度318,336人) ・稼働率—%(前年度—%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大浴場 : 休館日、臨時休館期間を除き、時間短縮で営業 (サウナはだいちの湯のみ営業) ・岩盤浴 : 全日休業 ・ウォーキングプール : 休館日、臨時休館期間を除き、時間短縮の上営業 ・トレーニングルーム : 休館日、臨時休館期間を除き、時間短縮、利用制限の上営業 ・娯楽室 : 全日休業 ・レストラン : 休館日、臨時休館期間を除き、時間短縮の上営業 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱体験施設の運営及び清掃
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 226,108千円 (前年度 226,108千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 89,698千円 (前年度 101,548千円) ・事務費 10,087千円 (前年度 9,087千円) ・施設管理費 13,142千円 (前年度 12,842千円) ・事業費 25,445千円 (前年度 27,445千円) ・光熱水費 32,343千円 (前年度 49,185千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	アンケート集計を月次報告書に添付して対応について報告しています。また、アンケートのご意見に対する回答を館内に毎月掲示しています。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
レストランメニュー	本年度は10月に売上に応じた大幅なメニューの入替を実施しました。五目あんかけ焼きそば、麻婆茄子豆腐丼等新たなメニューを加え、「日替りセット」は手づくりを基本とし、ご利用者には変化と手づくりを楽しんでいただけるよう工夫しました。
施設運用見直し①	本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として約4カ月間臨時休館しました。開館時は1Fのエントランスホールにてご利用者の健康状態を把握・記録するため健康調査票の記入のお願い、消毒液の設置、人数制限、利用制限の対策を講じました。また、通常と異なる営業体制にお客様が混乱しないよう館内掲示、館内放送、スタッフの声掛け対応等、工夫しました。
施設運用見直し②	臨時休館後の6月からは従来路線に加え、中浦和駅からの無料送迎バスを新たに導入しました。運行が1日1往復と限られておりますが、1年を通じてたくさんのご利用者にご利用いただきました。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

本年度は入館者数が前年度に比べ69%減少し、97,285名の方にご利用頂きました。1日平均のご利用者数は前年度の1,166人に対し、本年度は491人と大幅に減少しております。新型コロナウイルス感染拡大予防によるご利用者の外出の自粛及び施設の臨時休館、営業時間の短縮等が要因と考えます。

本年度通年で臨時休館(2回、計約4カ月間)、営業時間の短縮及び利用制限等、運用体制を大幅に変更しながらの営業となりました。通常とは異なる運用にご利用者から利用の仕方がわからないとご意見も頂戴しましたので、館内放送による呼びかけ、館内サイン及び職員の巡回作業の見直しを行い、衛生面に関しては各箇所に消毒液の設置、脱衣所には加湿器を導入しご利用者が快適に利用できるよう努めました。

一方、施設の維持管理としまして、プール入口のシャワー人感センサー更新工事、浴場濾過システムの配管改修工事、トレーニングマシンの部品交換等、設備関連メンテナンスを適宜実施し、快適にご利用いただけるよう努めました。

提供サービス向上としましては、ご利用者のご意見を参考にしながら売店の品を定期的に入れ替えご利用者を飽きさせないよう工夫しました。

安全管理体制の強化として消防訓練を6月、11月に実施し、ご利用者の避難・誘導を中心に、消火・通報・避難の手順と、関係者間の連携を確認しました。館内消火栓を実際に使った放水訓練なども実施し、良い緊張感の中本番を想定した訓練が実施できました。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:環境局施設部環境施設管理課)

総合評価 (B) ※A~D

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運営体制の大幅な変更を余儀なくされたが、館内放送、館内サイン等で周知を徹底し、高齢の利用者が多い中、大きなトラブルなく、適切な施設運営が行われている。
- ・施設の維持管理について、適宜、設備メンテナンス、定期的な館内清掃を行っている。
- ・利用者の安全のため、災害発生時を想定した避難・誘導訓練、実際に館内消火栓を使用した放水訓練など、安全管理体制の強化が図られている。

以上のことから、市民への利用促進、適正な維持管理における成果があったと評価できる。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き、衛生面での管理を徹底するとともに、運営体制の変更等で、施設利用者トラブルが起きないように、館内放送や館内サイン等を活用し、周知に遺漏がないようにする。今後も快適な施設利用ができるよう、適切なモニタリングを行い必要な指導をしていく。